SmartRunner Tremill

TR-2100

取扱説明書

■ 目次

安全にご使用いただくために…… 2
各部の名称／付属品の確認…… 3
組み立ての手順…… 4
折りたたみと展開の手順…… 5
操作パネル…… 6
液晶モニタ…… 7
準備の方法／正しい運動方法…… 8
スピードの調節方法…… 9
最もかんたんな使用方法…… 10
マニュアルトレーニング…… 11
スピードプログラム…… 12
音楽の再生方法…… 13
トラブルシューティング…… 14
メンテナンス方法…… 16
仕様…… 17
アフターサービス／保証書…… 18

▌この度は TR-2100 スマートランナー をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は本製品の組み立て方法及びご使用方法とご使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。

▌お読みになった後もこの取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保管してください。本製品を譲渡される時はこの取扱説明書も一緒にお渡しください。

▌ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または弊社窓口までお問い合わせください。

本取扱説明書及び保証書の内容の全部、または一部を複製、改変および送信したりすることはできません

Copyright 2013 YAMATO-HUMAN CO.,LTD. All rights reserved.

YAMATO

安全にご使用いただくために

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、
必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。
本書をお読み頂き内容をよく理解してから安全に正しくお使いください。
本取扱説明書及び常識的な安全上の注意を無視して発生した身体的・物質的損害に関しては一切責任を負いかねます。

このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。　このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

これらの警告を無視して誤った取扱いをすると、
使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

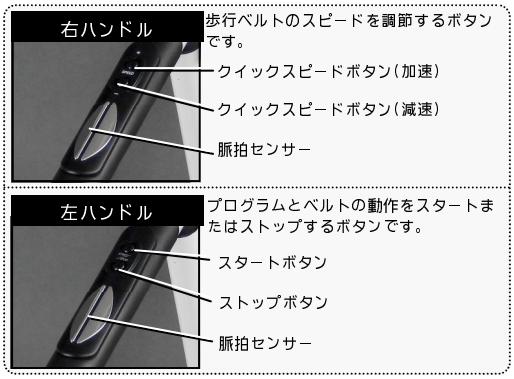
- 本機はぐらついたり、倒れたりしない安定した場所でご使用ください。転倒すると大きな事故につながります。また周囲には安全なスペースを確保し、万一の転倒などに備えてください。
- 電熱機器や火気類の近く、布団や繊維類の上では使用しないでください。また本機が濡れていたり、水気のある場所では使用しないでください。感電や火災、損傷の原因となります。
- 組み立ておよび運搬時は、転倒の恐れの無い平らで安定した場所において2人以上で行い、手袋を着用して指の挟みこみや転倒時等の万一の怪我等に備えてください。
- 分解や改造はしないでください。改造時・改造後のトラブルは一切の責任を負いかねます。また、分解や改造を行った時点で保証対象外となりますのでご注意ください。
- ご使用前には、各部ボルトやナット、溶接部等が正常に固定されているか必ずご確認ください。異常のあるままご使用になられますと、使用中に部品が外れるなど事故の恐れがあります。
- 濡れた手で電源などのケーブルやプラグ、メーターパネル等を触らないでください。
感電や本機の故障等の原因となります。
- 長い髪は束ねてからご使用ください。
稼動部に巻き込まれるなどして事故の原因となります。
- 本機をご使用の際は身体にフィットしたトレーニングウェア・シューズをご着用ください。
シャツなど衣服の一部が本機に巻き込まれると危険です。
- 指輪･ネックレス･ピアス等のアクセサリー類を取り外してからご使用ください。本機に引っ掛かったり、巻き込むなどして大きな事故の原因となります。
- 非使用時・使用中を問わず小さなお子様が近づかないようにしてください。稼動部に指を挟んだり、転倒等により大きな怪我の原因となる可能性があります。
- ぶらさがるなど、用途外での使用は絶対におやめください。
お子様やご年配の方がご使用になられる場合には、保護者の監視の元に行ってください。
- 運動中に、立ちくらみ･冷や汗･吐き気･脈拍の乱れ･寒気･頭痛など身体に異常を感じたら、直ちに運動を中止してください。
健康に害を及ぼす恐れがあります。
- 健康の維持・増進を目的とした製品であり、事前に医師に相談する必要がある場合、及び家庭用リハビリ用に使用する場合は、必ず医師に相談してから使用してください。
- 使用中に周りの人が本機や使用者を押したり引いたりする行為はやめてください。
事故や怪我をする恐れがあります。

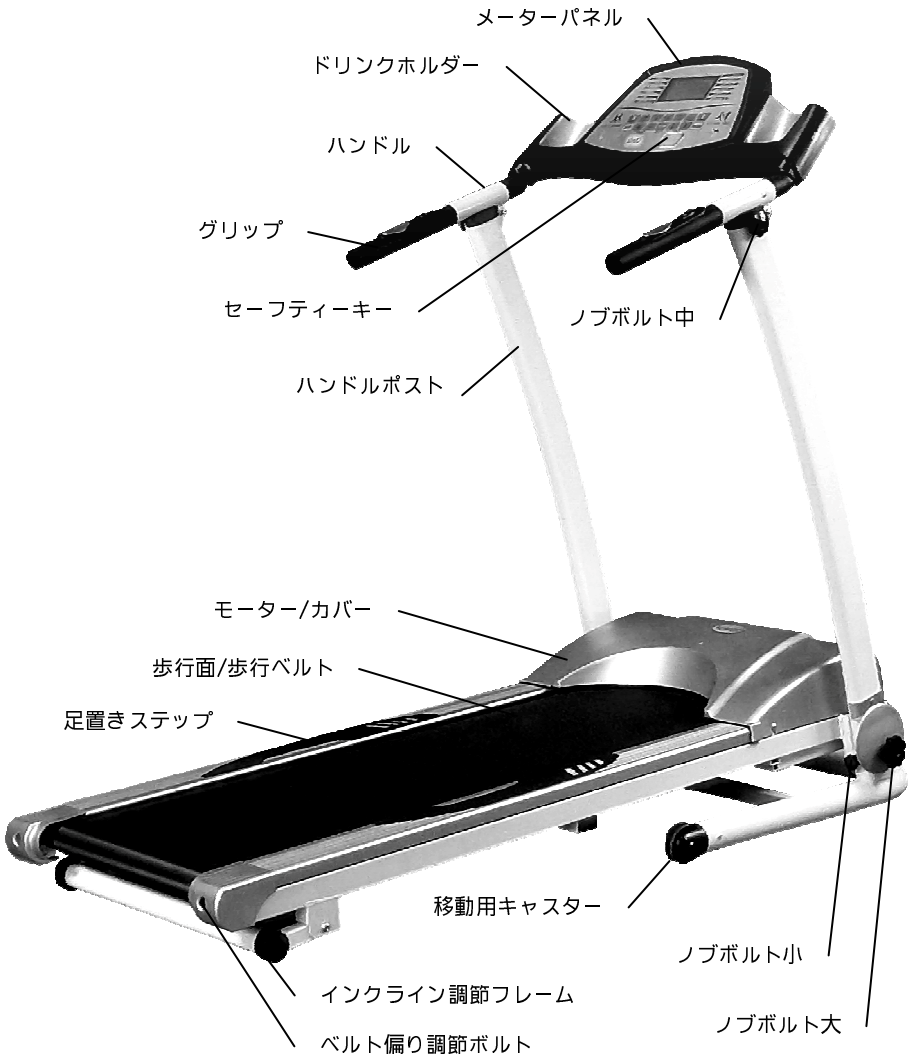
注意

これらの注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、
使用者が障害を負う可能性および物理的損害の発生が想定されます。

- 長時間の無理な運動はせず適度な休憩を取って下さい。
また運動中は絶対に息を止めないで運動の強度に合わせて自然に呼吸してください。
- 屋外や、水にぬれる場所でのご使用はできません。
湿気や紫外線によりフレームや各部分が錆びたり腐食したりすることがあります。
- 急な運動は心臓や筋肉に負担を掛け、かえって身体を痛めます。筋挫傷等を防ぐ為に5分～10分程の準備運動と、運動後にも5分～10分程のクールダウン運動を行ってください。
- 運動中、床を傷つけないよう必ずマット等を敷いてご使用ください。
マット等を使用しないと、床に傷をつける場合があります。
- 運動中はハンドル等をしっかりと握ってください。
足を滑らせた時など、転倒する危険があります。
- ご使用中に気分が悪くなった時や、痛み、めまいを感じた場合には、直ちに使用を中止して医師の診断を受けてください。
体調が優れない場合でのご使用は止めてください。
- 地球の環境保護のため、不法投棄などは行わないでください。
廃棄する場合は各自治体の取り決めに従って廃棄してください。
- 飲酒後や薬物を服用後などのように感覚が鈍くなっている時には使用をおやめください。
事故に繋がるおそれがあります。
- 室内用に設計された製品です。かならず室内でご使用下さい。
また直射日光に晒される場所には設置しないでください。
室外で使用すると製品寿命短縮・故障の原因となります。
- 電源コードや各種ケーブルなどで本機を引っ張ったり動かそうとしないでください。
故障の原因となります
- 本機の汚れをとる場合は柔らかい布にぬるま湯をつけてふき取って下さい。シンナーやアルコールを使用すると部品が腐食したり塗装を侵すことがあります。
- 保管、点検、組み立て、運搬時には必ず電源プラグを抜いてください。
- 同時に２人以上では使用しないでください。
また、乗降中や使用中、周囲の方が押したり引いたりしないようにしてください。
- 必ず指定の電源電圧(交流100V)で使用してください。
また、タコ足配線は行わないでください。
電源で使用すると感電・火災の原因となります。

各部の名称





付属品の確認

【ノブボルト大】　×　2コ

ハンドルポストを固定するために使用するノブボルトです。

【ノブボルト小】　×　2コ

ハンドルポストを固定するために使用するノブボルトです。

【ノブボルト中】　×　2コ

ハンドルを固定するために使用するノブボルトです。

【セーフティーキー】　×　1コ

本製品(メーターパネル)と使用者の方をつなぐ安全装置です。片方が磁石になっており、運動中の万一の転倒などによりこれがはずれると、歩行ベルトが安全に停止します。

【取扱説明書兼保証書】　×　1冊

本製品の組立方法や正しい使用方法を記載しています。巻末にはアフターサービスを受ける時に必要な保証書がついておりますので、お読みになった後も大切に保管してください。

【歩行ベルト偏り調節用レンチ】　×　1本

歩行ベルトの偏り調節をするときに使用する工具です。

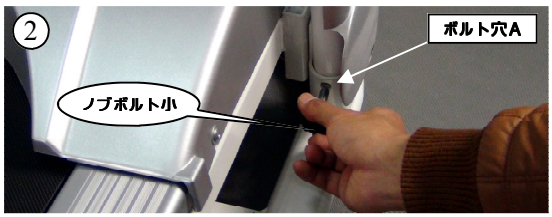
組み立ての手順

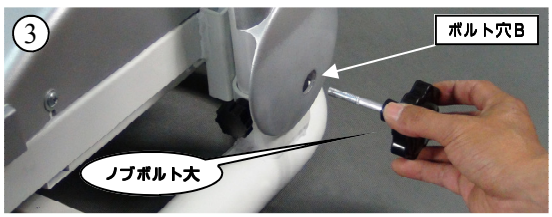
組み立てについて

本製品は組み立て済みの完成品です。
ただし、折りたたみ状態で梱包していますので、かんたんな組み立てが必要です。
組み立ての際に工具は一切使用しません。
☐ 組み立て作業は安全の為、平らで安定した場所で行なってください。
☐ 床および商品の保護のため作業は梱包ダンボールの上などで行ってください。

ハンドルポストを起こす

①図の様に、倒れている『**ハンドルポスト**』を起こします。





ハンドルポストの固定

②『**ノブボルト小**』を『**ボルト穴A**』に仮留めします。

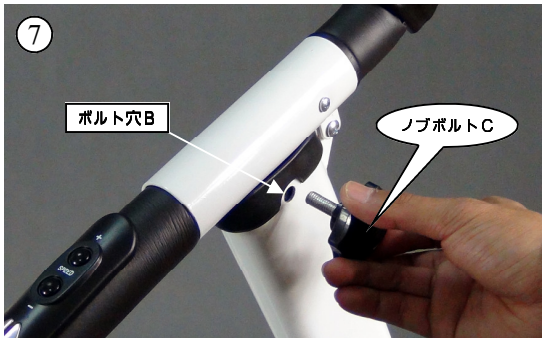
③『**ノブボルト大**』を『**ボルト穴B**』に本締めします。

④先程取り付けた『**ノブボルト小**』をしっかりと本締めします。

⑤反対側のハンドルポスト固定部も上記と同様の手順で固定します。

ハンドルを起こす / ハンドルの固定

⑥倒れている『**ハンドル**』を図の様に起こしてください。



⑦『**ノブボルト中**』を『**ボルト穴C**』に取り付け、しっかり本締めします。

⑧反対側のハンドル固定部も、上記と同様の手順で固定します。

⑨電源ケーブルをコンセントに接続して組立完了です。

折りたたみと展開の手順

歩行面の折りたたみ方法

歩行面を持ち上げるだけでカンタンに折りたたむ事ができます。

【折りたたみの手順】
折りたたむ時は本製品の主電源を切り、歩行面を持ち上げます。
歩行面を上まで持ち上げると油圧シリンダーにあるオレンジ色の
ロック部が『カチッ』と鳴り、歩行面がロックされます。

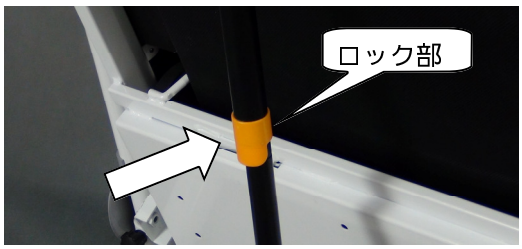
【折りたたみ時の注意事項】
折りたたみを行う際は、
不意の動作や、転倒などによる事故・怪我を防ぐ為、
下記の点に注意してください。

注意事項1 電源が接続されていない事を確認してください。
注意事項2 ケーブルなどが挟まっていないかを確認してください。
注意事項3 周囲に小さなお子様等が居ない事を確認してください。

歩行面の展開方法

本製品は展開用油圧シリンダーによりワンタッチ展開ができます。

【展開の手順】
油圧シリンダーにあるオレンジ色のロック部を軽く押してください。
ロックが外れ、歩行面がゆっくりと自動的に展開されます。



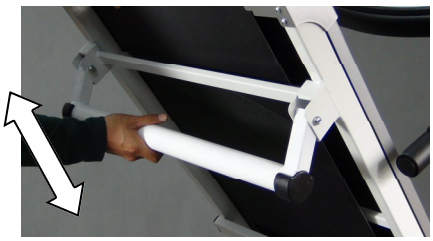
左図のロック部を
軽く押します。

※冬季はシリンダーの動作がかたくなり、ロック解除しただけでは
自動で歩行面が降りない場合があります。
その場合は、ロック解除後に歩行面を手で軽く押さえてください。

【展開時の注意事項】
展開を行う際は、
不意の動作や転倒などによる事故などを防ぐ為、
下記の点にご注意ください。

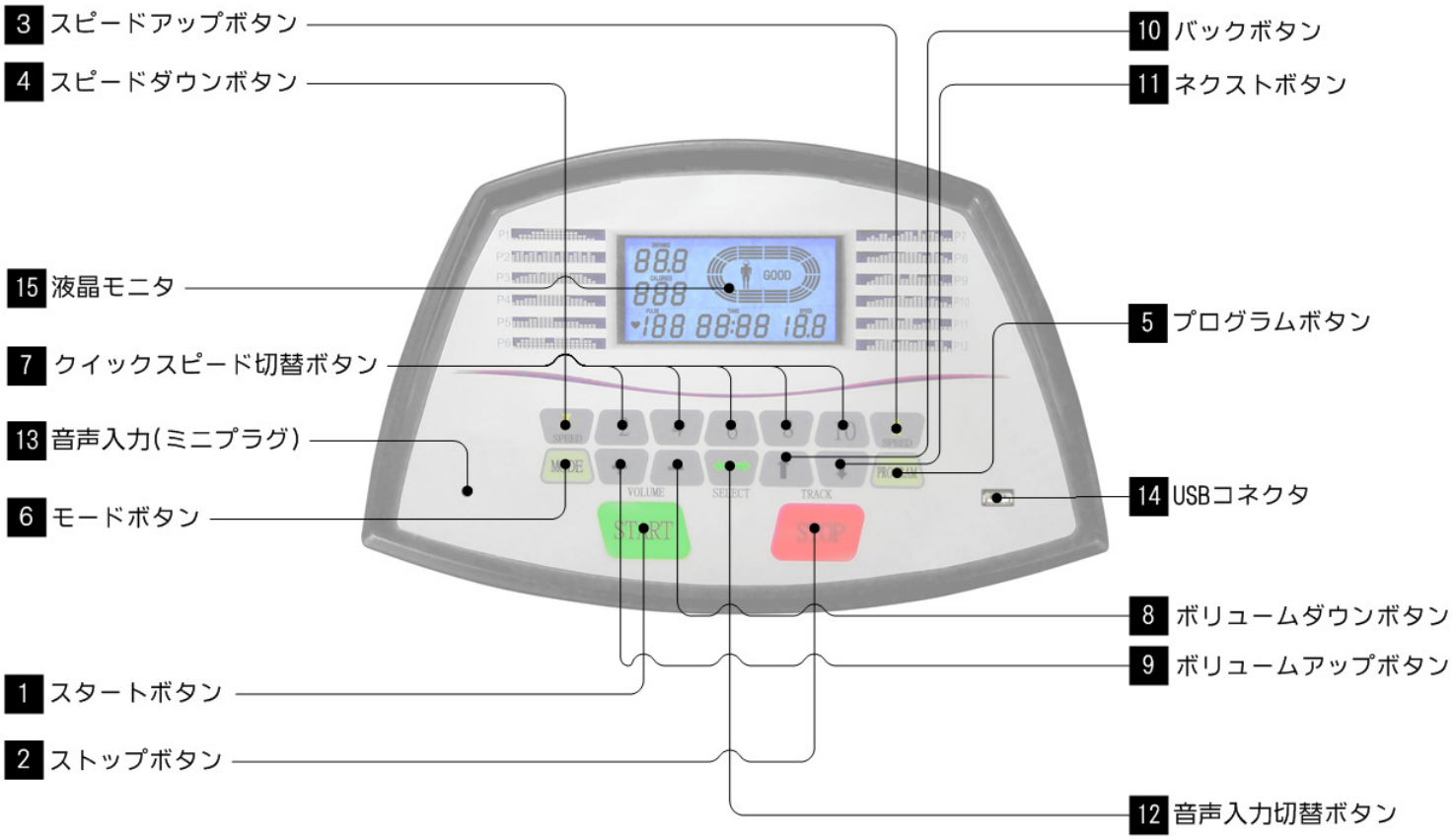
注意事項1 歩行面が展開される場所に物を置かないでください。
注意事項2 電源が接続されていないことを確認してください。
注意事項3 ケーブルなどが挟まっていないかを確認してください。
注意事項4 周囲に小さなお子様等が居ない事を確認してください。

インクライン傾斜角度の調節



歩行面を折りたたんだ状態で、インクライン調節
フレームを上に上げると傾斜角度5度、下へ下げる
と傾斜角度0度のフラットに切り替えられます。

操作パネル



各部の名称とはたらき

1 スタートボタン
運動を開始するときに使用します。

2 ストップボタン
運動を中止するときに使用します。
または、スタンバイ状態(本体が動作していない状態)でこのボタンを押す/長押しするとコンピュータの状態をリセットすることができます。

3 スピードアップボタン【スピードを上げる】
数値の入力や、歩行ベルトのスピードを早くするときに使用します。

4 スピードダウンボタン【スピードを下げる】
数値の入力や、歩行ベルトのスピードを遅くするときに使用します。

5 プログラムボタン
スピードプログラムを選択するときに使用します。

6 モードボタン
目標値を設定するときや、表示する値を変更するときに使用します。

7 クイックスピード切り替えボタン
歩行ベルトのスピードを、ボタンに印字されている速度へワンタッチ調節できるボタンです。

8 ボリュームダウンボタン
音楽の音量を下げるボタンです。

9 ボリュームアップボタン
音楽の音量を上げるボタンです。

10 バックボタン
1つ前の音楽トラックを再生するときに使用するボタンです。
※USBミュージックプレイヤーを使用している際のみ。

11 ネクストボタン
次の音楽トラックを再生するときに使用するボタンです。
※USBミュージックプレイヤーを使用している際のみ。

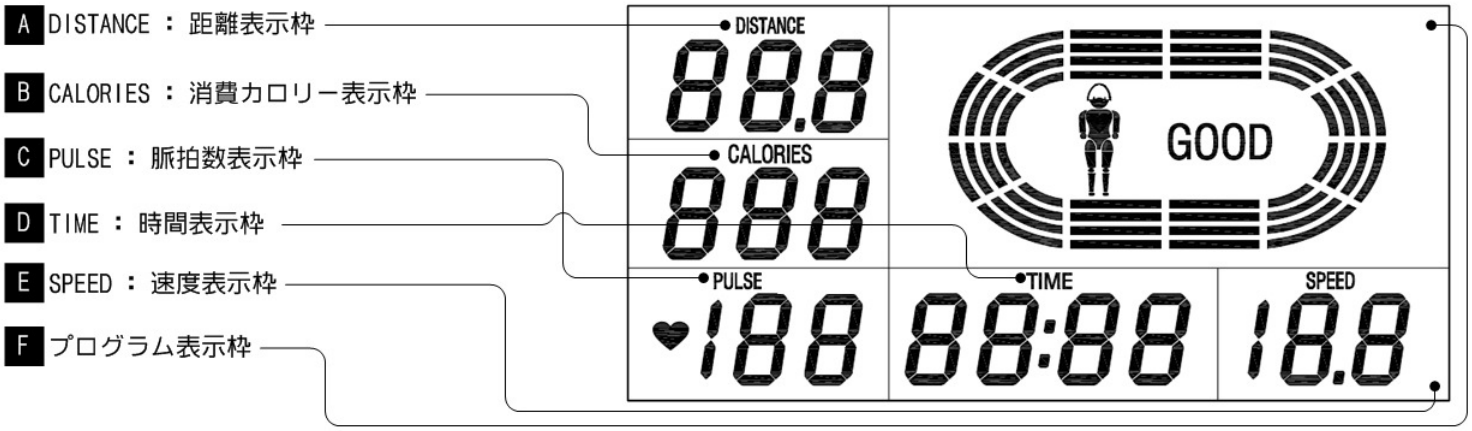
12 音声入力切替ボタン
①USBミュージックプレイヤー、
②音声入力(ミニプラグ)、
③スピーカーオフ
の3つのモードを順番に切り替えます。

13 オーディオ入力(ミニプラグ)
音声入力用のミニプラグを差し込むコネクタです。
ミュージックプレイヤーやスマートフォンをお持ちの方は、
ステレオミニジャックをここに接続して、
本体内蔵スピーカーから音楽を鳴らすことができます。
この機能を使用するには音声入力切替ボタンを押してください。

14 USBコネクタ(TYPE-A)
A型USB端子を接続できるコネクタです。
MP3またはWMAファイルを保存したUSBメモリを接続すると、USBミュージックプレイヤーとして使用できます。
また、スマートフォンや携帯電話の充電に使用できます。
(バスパワー500mA給電)

15 液晶モニタ
プログラム、スピード、距離、消費カロリー、脈拍数、時間の値を表示します。

液晶モニタ



各部の名称とはたらき

A DISTANCE ： 距離表示枠

走行距離をキロメートル単位で表示します。
表示可能範囲 ： 0.0km ～ 99.9km
目標設定しない場合は0.0kmからのカウントアップ。
目標設定した場合は、目標距離からカウントダウンし、値が0.0kmになると点滅してベルトがゆっくりと停止します。
目標設定は 1.0km ～ 99.9km の間で指定できます。(目標初期値1.0km)

B CALORIES ： 消費カロリー表示枠

消費カロリーを表示します。※参考値
表示可能範囲 ： 0kCal ～ 999kCal
目標設定しない場合は0kCalからカウントアップ。
目標設定した場合は、目標消費カロリーからカウントダウンし、値が0kCalになると点滅してベルトがゆっくりと停止します。
目標設定は 10kCal ～ 999kCal の間で指定できます。(目標初期値50kCal)

C PULSE ： 脈拍数表示枠

脈拍センサーから検出した脈拍数を表示します。
表示可能範囲 ： 50拍/分 ～ 150拍/分
この枠に表示される値は参考値です。医療データとして使用することはできません。
脈拍を検出させるためには、両ハンドルのグリップをそれぞれ両手でしっかりと握ってください。
脈拍センサーに触れたまま約5秒経過すると、液晶モニタに脈拍数が表示されます。
脈拍を検出できていない場合はこの表示枠に『Ｐ』と表示されます。

D TIME ： 時間表示枠

運動時間を表示します。
表示可能範囲 ： 00:00 ～ 99：59
目標設定しない場合は00:00からのカウントアップ。
目標設定した場合は、目標時間からカウントダウンし、値が00:00になると点滅してベルトがゆっくりと停止します。
目標設定は 5:00 ～ 99:00 の間で指定できます。(目標初期値15:00)

E SPEED ： 速度表示枠

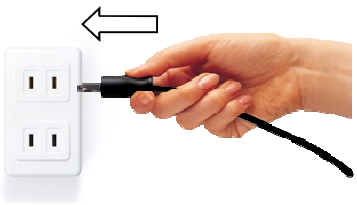
ベルトのスピードを表示します。
表示可能範囲 ： 0.3km/h ～ 12km/h

F プログラム表示枠

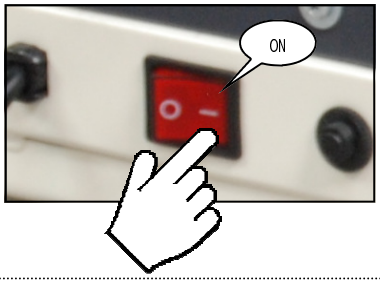
トラックやプログラムを表示します。

準備の方法／正しい運動方法

準備の方法

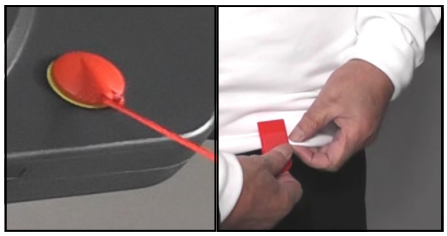


【電源ケーブルを接続】
ご家庭のコンセントに、本製品の電源ケーブルを差し込んでください。
※濡れた手でコンセントに触らないでください。
※タコ足配線は避けてください。
※一般家庭用電源100V用以外のコンセントに接続しないでください。



【主電源スイッチをオンにする】
本体裏側にある、主電源スイッチをオンにしてください。
○マークが電源オフ、
―マークが電源オンです。
電源が入っているときは、スイッチが赤く点灯します。

電源をオンにすると、液晶モニタのバックライトが青く点灯して使用準備ができます。



【セーフティキーの接続】
身体(衣服)の一部と、メーターパネルをセーフティキーで必ず繋いでください。
万が一の転倒時や、速度についていけなくなったときにこれが外れると、
安全にベルトがストップします。

このセーフティキーが接続されていない場合は、画面に『Ｅ７』と表示され、
再度セーフティキーを接続するまで使用することはできません。
マシンを使用する際は常にセーフティキーが接続されている必要があります。

セーフティキーと身体を繋がずに運動することは絶対に避けてください。

正しい運動方法

①必ずスポーツシューズをはいてください。
足を保護し、正しく快適に運動ができます。

②長い髪は束ねてください。
各部に引っ掛かるなどして危険です。

③慣れるまではハンドルから手を離さない。
転倒などによる怪我に充分注意してください。

④飛び跳ねながら使用しないでください。
飛び跳ねながら運動すると、運動効果が半減します。
それだけでなく、歩行面が傷んだり、足腰の負傷、騒音の原因などとなります。
つま先で地面を後ろへ蹴り、かかとからスムーズに着地するように意識してみてください。

⑤5分間のストレッチ/準備運動を充分に行ってください。
準備運動なしでの急な運動は思わぬ怪我を招きます。

スピードの調節方法

このページではスピードの調節方法をご説明します。

本製品のスピード調節をするには、３つの方法があります。

①メーターパネルの スピード調節ボタンを使う。
②右側ハンドルスピードボタンを使う。
③メーターパネルのクイックスピードボタンを使う。

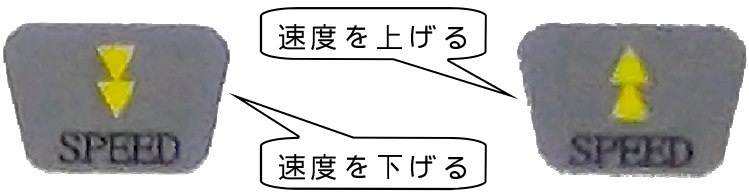
運動中はハンドルから手を離すと危険ですから、
ハンドルを握ったままスピード調節ができる、
ハンドルスピードボタンを使用すると安全です。

または
●即座にジョギングに切り替えたいとき。
●スピードを早くしすぎたので急遽スピードを下げたい。
●スピード調節ボタンを押し続けるのが面倒。
といったときには、ワンタッチで即座にスピード調節ができる、
クイックスピードボタンが便利です。

各ボタンの詳しい説明は下記項目をご覧ください。

スピード調節ボタンを使ってスピードを調節する。

スピード調節ボタンはメーターパネル中央両端にあります。
上矢印のボタンを押すとスピードが下がり、
下矢印のボタンを押すとスピードが上がります。
どちらも１回押すごとに0.1km/hづつ調節できます。
長押しすると早くスピード調節できます。



ハンドルスピードボタンを使ってスピードを調節する。

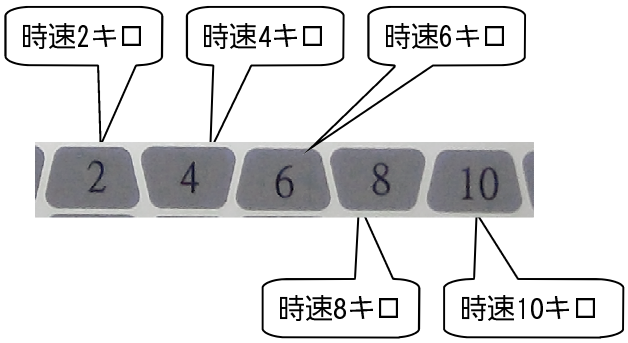
ハンドルスピードボタンはハンドル右側の脈拍センサーの上にある２つの黒いボタンです。
上側のボタンを押すとスピードが上がり、
下側のボタンを押すとスピードが下がります。
どちらも１回押すごとに0.1km/hづつ調節できます。
または長押しをすると早くスピード調節できます。

速度を上げる
速度を下げる

運動中ハンドルから手を離さずに速度調節ができるので安全です。

クイックスピードボタン使ってスピード調節。

クイックスピードボタンはメーターパネル右側にある5つのボタンです。
２～１０までの数字が書かれたそれぞれのボタンをおすと、その数字の速度までゆっくりと自動的にスピードが調節されます。



押したボタンの速度にワンタッチ調節ができるので便利です。またスピードを出しすぎた時にも、即座にスピードを下げることもでき安全です。

スピードは急激に変わることなく、ゆっくりと安全に調節されます。

最もカンタンな使用方法

このページでは、最もカンタンに運動を始められる方法をご説明します。
目標設定が必要ないとき、プログラムトレーニングが必要ないとき、設定が面倒なとき、随時自分でスピード調節を行いたい時などに適します。

1 準備

運動を開始する前に、これらの準備を行ってください。

①準備運動。

②電源を入れる。

③セーフティキーで身体とマシンを繋ぐ。

詳しい準備の方法は、７ページをご覧ください。

2 運動を開始する。

スタートボタンを押して、
運動を開始します。

スタートボタンを押すと、
3回のカウントダウン音が鳴り、ベルトが動き始めます。

歩行ベルトは、0.3km/hの極低速です。
プログラムを使用していないこのモードでは、スピードを調節しない限り速度は変わりません。
スピードを調節したい場合は次の手順で変更してください。

3 スピードを調節する。

運動中にお好みのタイミングでスピードを調節できます。

調節方法は８ページをご覧ください。

4 運動を終わるとき

運動を終了したいときは、
ストップボタンを押してください。

歩行ベルトがゆっくりと止まります。

マニュアルトレーニングの操作方法

マニュアルトレーニングは、
自身で随時スピードを調節しながら自由に運動ができるトレーニングです。
体力のすぐれた方のハードなトレーニングや、体力に自身のない方のソフトなトレーニングなどに適します。

このマニュアルトレーニングでは、**目標時間・目標距離・目標消費カロリー**のうちいずれか１つを目標に設定できます。

1 準備

運動を開始する前に、これらの準備を行ってください。

①準備運動。

②電源を入れる。

③セーフティキーで身体とマシンを繋ぐ。

詳しい準備の方法は、７ページをご覧ください。

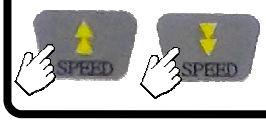
2 目標設定をはじめる。

目標時間を設定したいとき → 手順３へ
目標距離を設定したいとき → 手順４へ
目標消費カロリーを設定したいとき → 手順５へ

3 目標時間を入力する。

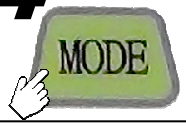
モードボタンを１回押してください。

時間表示窓が点滅しています。
目標の初期値は15分間です。
ここで運動したい時間(目標時間)を入力します。

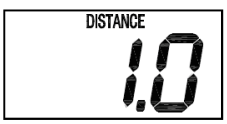


スピードアップまたは**ダウンボタン**を押すと、１分づつ時間を調節できます。お好みの時間を入力してください。
→手順６へ進んでください。

4 目標距離を入力する。



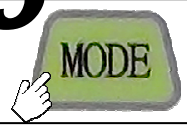
モードボタンを２回押してください。



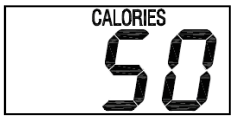
距離表示窓が点滅します。
目標の初期値は1.0kmです。
ここで走行したい距離(目標距離)を入力します。

スピードアップまたは**ダウンボタン**を押すと、１kmづつ距離を調節できます。お好みの目標距離を入力してください。
→手順６へ進んでください。

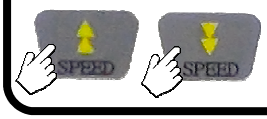
5 目標消費カロリーを入力する。



モードボタンを３回押してください。



消費カロリー表示窓が点滅します。
目標の初期値は50キロカロリーです。
ここで消費したいカロリー
(目標消費カロリー)を入力します。



スピードアップまたは**ダウンボタン**を押すと10kcalづつカロリを調節できます。お好みのカロリーを入力してください。
→手順６へ進んでください。

6 運動を開始する。

目標設定が完了しました。

スタートボタンを押して運動を開始します。

スタートボタンを押すと、
3回のカウントダウン音が鳴り、ベルトが動き始めます。

歩行ベルトは、0.3km/hの極低速です。
プログラムを使用していないこのモードでは、スピードを調節しない限り速度は変わりません。
スピードを調節したい場合は次の手順で変更してください。

7 スピードを調節する。

運動中にお好みのタイミングでスピードを調節できます。

調節方法は８ページをご覧ください。

8 ※運動を中止したいとき

運動を途中で中断したいときは、
ストップボタンを押してください。

歩行ベルトがゆっくりと止まります。

9 目標達成！

設定した目標を達成すると『ピッ』と音が鳴り、
ゆっくりと歩行ベルトが止まります。

スピードプログラムの使用方法

スピードプラグラムは、運動中のスピード調節をコンピュータが自動で行う事を指します。
コンピュータが自動でスピードを変化させてくれる為、ユーザーは集中してエクササイズに専念できます。
このスピードプログラムは、全部で１２種類用意されています。
スピードプログラムを使用して運動するときは、目標時間を設定することができます。※設定しない場合は初期値の15分間

1 準備

運動を開始する前に、これらの準備を行ってください。

①準備運動。

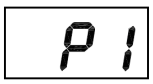
②電源を入れる。

③セーフティキーで身体とマシンを繋ぐ。

詳しい準備の方法は、７ページをご覧ください。

2 プログラムを選ぶ。

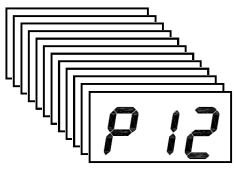
プログラムボタンを１回押してください。



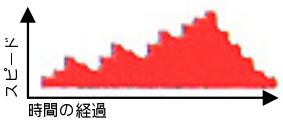
液晶モニタ左上に、左図のようにＰ１と表示され『プログラム１』が選択されたことを表します。

3 プログラムを選ぶ。

さらに**プログラムボタン**を押すと、
Ｐ１～Ｐ１２の間で順番に選択しているプログラムが切り替わります。



お好みのプログラムの番号を画面に表示させて選択してください。



液晶横に印字されているグラフは、それぞれのプログラムのスピードの変化の具合を表しています。

4 目標時間を入力する。

時間表示窓が点滅しています。
初期値は１５分です。
ここで運動したい時間(目標時間)を入力します。

スピードアップまたは**ダウンボタン**を押すと、
１分づつ時間を調節できます。

5 運動を開始する。

準備が整いました。
スタートボタンを押し、
運動を開始してください。

スタートするとプログラムにしたがって自動的にスピードが変化します。このため運動中はコンピュータの操作を行う必要がありません。

ただしスピードが上がりすぎてペースに会わず、危険だと感じた場合は、即座にセーフティキーを引き抜くか、メーターまたはハンドルのストップボタンを押して動作を中断してください。

6 運動を終わるとき

運動を途中で終了したいときは、
ストップボタンを押してください。

歩行ベルトがゆっくりと止まります。

7 目標達成！

設定した目標時間を達成すると『ピッ』と音が鳴り、
ゆっくりと歩行ベルトが止まります。

音楽の再生方法

本製品には2つの音楽再生機能が搭載されています。
音楽の入力には、下記2つの方法を選択できます。

●USBミュージックプレイヤー
●音声入力(ミニプラグ)

【USBミュージックプレイヤー】
MP3またはWMA形式の音楽ファイルが保存された
USBメモリを本製品のUSBコネクタへ接続すると、
保存されている音声ファイルを本製品のスピーカー
から再生することができます。
USBメモリは**FAT32でフォーマット**してください。

このコネクタは500mAを給電します。USB端子からの500mA給電に対応したスマートフォンや携帯電話の充電が可能です。
※iPhone(r)やiPod(r)、ウォークマン(r)等のメディアプレイヤーの充電は可能ですが、USB接続したこれらの機器を
本機からコントロールしたり、これらのメディアプレイヤー内に保存されている音楽を再生することはできません。

USBミュージックプレイヤーの使い方

1. MP3またはWMA形式の音楽ファイルが保存されたUSBメモリを、本製品のUSBコネクタへ接続します。
2. 本体の電源を入れてください。
3. パネルにある音声入力切替ボタンを押して数秒待ち、音楽が再生されるのを待ちます。
   しばらく待っても音楽が再生されない場合はスピーカーオフ状態または音声入力(ミニプラグ)状態になっています。
   その場合は、再度音声入力切替ボタンを押して数秒待ちます。
4. 音量の調節はボリュームアップボタンまたはボリュームダウンボタンを使って行います。
5. 次のトラックまたは前のトラックへ移動したい場合は、ネクストボタンまたはバックボタンを押してください。
6. 音楽の再生をストップしたい場合は、音声入力切替ボタンを使用してスピーカーオフ状態にします。
7. USBメモリを取り外す場合は、本体電源をオフにしてから取り外してください。

※本機に接続するUSBメモリ内には、MP3またはWMA形式以外のファイルを含めないでください。

【オーディオ入力(ミニプラグ)】
各音楽プレイヤー機器を本製品のミニプラグ端子へ接続すると本機内臓のスピーカーから音楽を再生する事ができます。
ヘッドフォンの代わりに本機のスピーカーから音声出力が可能です。　内臓スピーカーはモノラルスピーカーです。
iPod(r),iPhone(r),ウォークマン(r)など音声出力ミニプラグを持つ機器を接続することができます。

オーディオ入力(ミニプラグ)からの音楽再生方法

1. お手持ちの音楽プレイヤーと本機を、ミニプラグケーブルを使って接続してください。
   ※ケーブルは別売りです。両端がステレオまたはモノラルミニプラグのオス端子になっているケーブルが必要です。
2. 音楽プレイヤーと本機を接続したら、音楽プレイヤーを操作して再生を始めてください。
   ※音楽の再生方法はご使用の音楽プレイヤー付属の取扱説明書をご覧ください。
3. 音声入力切替ボタンを押して数秒待ち、音楽が再生されるのを待ちます。
   しばらく待っても再生されない場合はスピーカーオフ状態またはUSBミュージックプレイヤーになっています。
   その場合は、再度音声入力切替ボタンを押して数秒待ちます。
4. 音量の調節はボリュームアップボタンまたはボリュームダウンボタンを使って行います。
5. 音楽の再生をストップしたい場合は、音声入力切替ボタンを使用してスピーカーオフ状態にします。

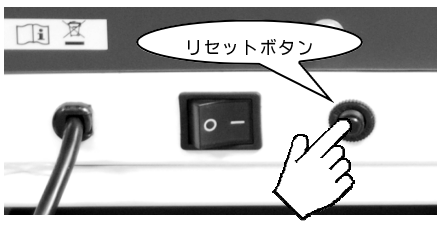
【音声入力切替ボタンについて】
本機の音楽再生には3つのモードがあります。

USBミュージックプレイヤーモード	音声入力(ミニプラグ)モード	スピーカーオフモード

これらを切り替えるには、音声入力切替ボタンを押してください。
ボタンを押してからモードが切り替わるまで数秒時間がかかります。

トラブルシューティング

トラブルシューティング
ご使用中に異常が発生した場合は、次の点をチェックしてください。
それでもトラブルが解消されない場合は販売店または弊社までご連絡ください。

エラー表示 液晶モニタにE1と表示される。	**【コンピュータに異常が発生しています。】** ●各ケーブル接続不良または一時的な内部エラー、または各ケーブルの接続不良の可能性があります。一度電源を切り再度電源を入れてみてください。復旧しない場合は各ケーブルが断線していないかをご確認ください。 ＝解決しない場合はコンピュータ故障の可能性があります。
エラー表示 液晶モニタにE2と表示される。	**【モーターを動作させることができません。】** ●モーターと基盤を接続しているケーブルが断線または接触不良になっている可能性があります。電源をコンセントから抜き、モーターカバーを取り外してから、モーターと基盤を繋ぐケーブルが外れたり断線していないかをご確認ください。 ●モーターや稼動部に異物が挟まってモーターが動けない状態である可能性があります。各駆動部やモーターに異物が挟まっていないかを確認してください。 ●または、ふんばって歩くなどして、歩行ベルト作動中に負荷を掛けて回転が著しく遅くなった時にも表示されます。ベルトには負荷を掛けないように自然に歩行するようにしてください。 ●または、ベルト偏り調節ボルトを締めすぎてベルトの張力が強すぎる時にも表示される事があります。ベルトは適度に、滑らずに少したわむ程度に調節してください。 ＝解決しない場合はモーターまたはコンピュータ故障の可能性があります。
エラー表示 液晶モニタにE3と表示される。	**【スピードセンサーがモーターの回転を正しく検知できません。】** ●モーター端部のスピードセンサーに異物が付いたり曲がるなどして、モーターの回転を正しく検知できない可能性があります。モーターカバー内のセンサー部を確認し異物などがあれば取り除いてください。 ●または、ふんばって歩くなどして、歩行ベルト作動中に負荷を掛けて回転が著しく遅くなった時にも表示されます。ベルトには負荷を掛けないように自然に歩行するようにしてください。 ●または、ベルト偏り調節ボルトを締めすぎてベルトの張力が強すぎる時にも表示される事があります。ベルトは適度に、滑らずに少したわむ程度に調節してください。 ＝解決しない場合はセンサーまたはコンピュータ故障の可能性があります。
エラー表示 液晶モニタにE4と表示される。	**【サーモスタットによって本体の動作を停止しました。】** ●強い抵抗がモーターにかかったり、長時間の使用で本体が加熱した場合、モーターの温度上昇による故障を防ぐ為、サーモスタットが自動的に本体の動作を停止させます。 この表示が出た場合は、モーターの温度を下げる為周囲の風通しを良くして30分程マシンを使用しないようにしてください。 ●過電流が本体に流れた場合にも保護の為サーモスタットが働き動作を停止します。  モーターを十分に冷却した後、本体裏側に有るリセットボタンを押して再度マシンを使用できます。
エラー表示 液晶モニタにE5と表示される。	**【モーターヒューズ飛びまたはモーターの故障】** ＝ご購入店または弊社までお問合せください。

エラー表示 液晶モニタにE7と表示される。	**【セーフティキーが接続されていません。】** ●セーフティキーがパネルに接続されていない場合にこのエラーが表示されます。セーフティキーが正しくパネルに接続されているかをご確認ください。 ●セーフティキーを接続せずに本機を使用することはできません。 ●セーフティキーで本機と使用者を繋がずに使用することは絶対におやめください。
電源が入らない。	●電源ケーブルが正しく接続されているかをご確認ください。 ●本体裏側の主電源スイッチを押してください。 ●ブレーカーが落ちていないか、断線していないか確認してください。 ●電源が適切(家庭用交流100V 50Hz/60Hz)であるかご確認ください。 ●タコ足配線をしている場合はおやめください。 ●各ケーブルが正しく接続されているかをご確認ください。 ●メーターパネルのPOWERボタンを押してください。 ●以上を確認しても解決しない場合は故障の可能性があります。
運動中に動作が急に止まる。	●セーフティキーが外れていないか確認してください。 ●本製品に過電流が流れたり、長時間の使用で本体が加熱した場合、保護の為動作を停止します。復旧するには本体が加熱していないか、配線に異常が無いかを確認し、本体裏のリセットボタンをおしてください。 ●使用中にハンドルまたはパネルのストップボタンを押してしまっていないかご確認ください。
ベルトが偏ってきた。	●効き足や歩き方によって、使用するにつれベルトは偏りが発生することがあります。定期的に偏り調節を行ってください。 ●ベルトの偏りが発生したまま使用し続けると、ベルトの磨耗など故障につながります。 ●ベルト偏り調節方法は(１９ページ：メンテナンス方法) ご覧ください。
シリコンスプレーが付属していません。	●シリコンスプレーは同梱しておりません。 ホームセンターなどで別途お買い求めください。 ※『呉工業 KURE CRC シリコンスプレー ¥525』など 鉱物潤滑油はプラスチック部やベルトなどの樹脂を変質させ故障の原因となります。ご使用はお避けください。 ●シリコンスプレーを吹き付けすぎるとベルトのすべりが発生する事があります。この場合は余分な油分を乾いた布などで拭き取ってください
音楽が鳴りません。	●接続されている機器を再生するモードになっていない可能性があります。音声入力切替ボタンを押して数秒待ち、音楽が再生されるかご確認ください。再生されない場合はこの手順をさらに2回繰り返してください。(USB→オーディオ入力→スピーカーオフの切替) ●機器が正しく接続されていないか、ミニプラグを使用している場合は接続機器で音楽が再生されていない可能性があります。接続を確認し接続機器で音楽を再生してください。 ●USBメモリを接続して音楽を再生する場合、USBの記憶域はFAT32でフォーマットされている必要があります。 ●USBメモリを接続して音楽を再生する場合、MP3またはWMA形式の音楽ファイルのみ再生可能です。それ以外のファイルが保存されたUSBメモリを本機に接続しないでください。 ●特定の音楽ファイルが再生できない場合は、音楽ファイルのビットレートを下げて再度ご確認ください。 ●USBメモリまたは充電に対応した機器以外のUSB機器は接続しないでください。故障の原因となります。 ●USBメモリの容量が大きすぎる可能性があります。1GB～16GBまでのUSBメモリを使用してください。

メンテナンス方法

より永く本製品をご使用いただくためのメンテナンス方法をご説明します。

【歩行ベルトの潤滑】

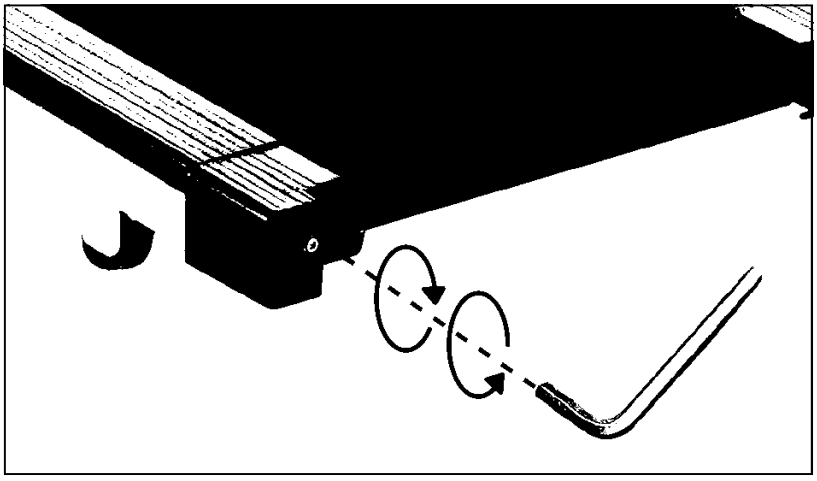
歩行ベルトは、常にローラーや歩行板に触れて摩擦しています。
ベルトが潤滑されていない状態で使用し続けると、ベルトの磨耗や、発熱などが起こる事があります。

摩擦による磨耗や発熱を防ぐため定期的に市販のシリコンスプレーを図の様に少量塗布してください。
摩擦を抑えられ、快適に使用することができます。
※シリコンスプレーは同梱しておりません。
　ホームセンターなどで別途お買い求めください。
※鉱物油系などの樹脂を侵す恐れの有る物は使用しないでください。
※塗布しすぎると運動中に歩行ベルトが滑ることがありますので塗り過ぎにはご注意ください。

【歩行ベルトの偏り調節】

歩行ベルトは使用するにつれ、使用する方の効き足などにより偏りが起こります。偏りが発生した場合は、付属の工具を使用して速やかに偏り調節を行ってください。

①電源を入れ１km/h程でベルトを回してください。
②ベルトが寄っている側の調節ボルトを時計回りに回して少しずつ張ります。
③反対側の調節ボルトを反時計回りに回して少し緩めます。
④ベルトが回転しながらまっすぐになるまで２～３の手順を少しずつ繰り返してください。

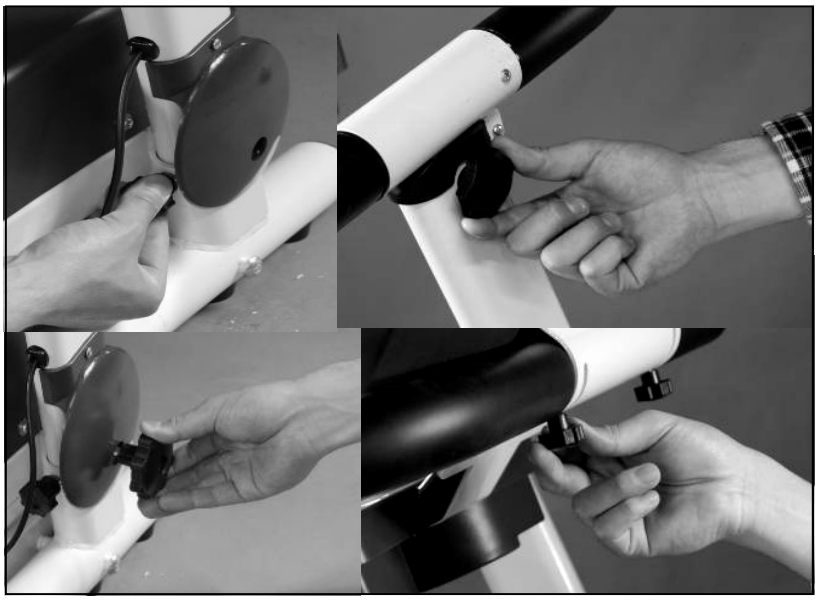


【各部の増し締め】

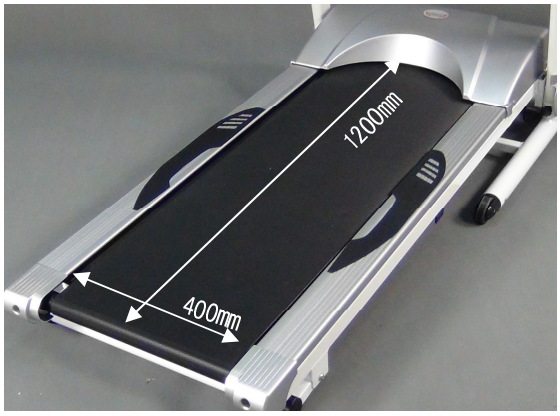
運動を行う前に、各ボルトやノブボルトが緩んでいないかチェックを行ってください。

緩んでいる場合はしっかりと増し締めを行います。

破損などが見つかった場合、
部品の交換や修理が必要です。
破損したままでは絶対に使用しないでください。



仕様



製品サイズ(展開時)	長1540×幅710×高1330(mm)
製品サイズ(折りたたみ時)	長 650×幅710×高1600(mm)
重量	約48kg
メーター表示	時間,距離(km),速度(km/h),消費カロリー(kcal),脈拍(bpm),トラック
動力	DCモーター 1.5馬力
インクライン調節(傾斜調節)	+5°（上り坂） または 0°（フラット）手動切替（2段階）
搭載プログラム	スピードプログラム×12
クイックスピード調節ボタン	2km/h, 4km/h, 6km/h, 8km/h, 10km/h（スピードワンタッチ切り替え）
USB入力/充電	USBPlay対応機器 ： FAT32フォーマットUSBメモリ/1GB～16GB USBPlay対応形式 ： MP3形式 or WMA形式 USB給電電力 ： 500mA USBコネクタ ： USBTypeA端子
オーディオ入力	ステレオミニプラグ端子(モノラル入力)
スピーカー出力	5W/モノラル
有効歩行面	1200×400(mm)
走行速度	0.3km/h～12.0km/h（0.1km/h ステップ）
耐荷重	100kg迄
電源	一般家庭用用電源100V （50/60hz）
脈拍センサー	グリップセンサー測定
組立時間	約30分
付属品	本体×1ヶ,セーフティキー×1ヶ,ベルト調節用レンチ×1ヶ,本書×1冊
材質	粉体焼付塗装仕上スチールパイプ,ABS樹脂,PVC,MDF,ウレタンフォーム
非常停止	引き紐式非常停止方式(セーフティキー)
連続使用時間	60分
生産国	中国

アフターサービスについて

◆取扱説明書(本書)は保証書も兼ねております。『販売店(ご購入店名)・購入日・お名前・お電話番号』をご記入した上で保証規定をよくお読み頂き、製品を破棄するまでは大切に保管してください。
◆通信販売等でお買上頂き、販売店より保証書の販売店欄とお買上日欄の記入が無い場合はお手数ですがお客様ご自身でご記入くださいませ。
◆無償保証期間はお買い上げ日から１年間です。
◆サービスをご依頼される前は、今一度この取扱説明書を良くお読みください。
その上で異常がある、または問題が解決しない場合は、製造元までご相談ください。またその際には、製品の品番と故障内容をお申し付けください。
◆異常がある場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご依頼ください。
◆その他のアフターサービスについてご不明な点が御座いましたら、販売元または製造元までお申し付けください。

保証書

TR-2100 ： スマートランナー トレミル

型式番号：TR-2100

YAMATO HUMAN CO.LTD

保証期間	対象部分	期間
	本体	1ヵ年

お買上げ日	年　月　日	販売店（またはご購入店）
お客様	ご住所	
	お名前	
	お電話	

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償で部品もしくは本体の交換をします。
(故障内容・原因によります。)
2. 出張による修理は一切行っていません。
3. 保証期間内であっても、次の場合は有償となります。
(イ)使用中の誤り及び不当な修理や改良または改造による故障及び損傷。
(ロ)お買上げ後の落下等による故障及び損傷。
(ハ)火災・地震・水害・落雷による故障及び損傷。
(ニ)一般的な本来の目的以外に使用された場合の故障及び損傷。
(ホ)本書の提示が無い場合 ※紛失された場合再発行は致しません。
(ヘ)本書のお買上げ年月日･お客様名･販売店名の記載が無い場合、もしくは意図的に書き換えられた場合。
4. 本書は日本国内でのみ有効です。
5. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管ください。

※この保証書は本書に明示した期間・条件の元において、無償で部品交換等をお約束するものです。お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の保証等については、販売店もしくは弊社にお問い合わせください。

～製品に関するお問い合わせはお買い上げ販売店、または下記連絡先まで～
受付:午前9時～午後6時まで（土,日,祝日除く）

販売店：

発売元：
ヤマトヒューマン株式会社
〒632-0231　奈良県奈良市都祁吐山町2668-1
TEL:0743-82-0687　FAX:0743-82-0673
ウェブサイト http://sports.yamato-human.com/